



# 第三者評価事業はじまる

全保協策委員 草山 充

この三月二十九日に、新年度から実施される第三者評価事業の評価基準等の報告書が出されました。「児童福祉施設における福祉サービスの第三者評価基準等に関する報告書」(児童福祉施設等評価基準検討委員会・石井哲夫座長)

今後は、この基準等を参考に、厚生労働省がガイドラインを作成し、それに則して第三者評価機関が創設・始動されることとなります。

第三者評価事業は、社会福祉基礎構造改革の一環であり、公正な第三者による保育サービス評価の目的は、①各事業者によるサービスの質の向上に係る取組みを促進し、②利用者が保育内容を十分把握できるようにすることです。

また、①第三者評価を受ける(受審する)義務はないが、それが望まれていることは、社会福祉法第七八条で「自らその提供する福祉サービスの質の評価を行うことその他の措置を講ずることにより、常に福祉サービスを受ける者の立場にたつて良質かつ適切な福祉サービスを提供するよう努めなければならない」とされ、そのため、「国は福祉サービス

の質の公正かつ適切な評価の実施に資するための措置を講ずるよう努めなければならない」と規定し、また、保育情報提供は利用者が欲しているところでもあります(児童福祉法第四八条の二)

報告書では、評価の基準は、②児童福祉施設最低基準と同じ水準ではなく(行政監査と重複する項目は省かれてい)、よりよいサービス水準へ誘導するための評価基準ということで、プラス面を評価するという意味合いが前提となっています。そのほか、評価の手順は、保育所からの受審申し込み↓自己評価・利用者調査(アンケート)↓実地調査↓評価決定と進みます。

保育所での福祉サービスの第三者評価基準の特性として、①評価基準の構成は、評価対象「I～IV」、評価分類「1～5」、評価項目「(1)～(24)」判断基準・総合判断基準、と援助等評価対象や評価項目でなっており、②子どもの発達には、保育所保育指針がベースになっています。③実際の取り組みが評価できるような配慮や、利用者にもわかりやすく具体的な内容をとり入れよ

うとしています。

また、評価の結果は、個々の基準ごとに示されるほか、「評価対象」「評価分類」と「総合所見」と全体の「総合所見」が提示されます。評価の最終段階において、個々の評価項目等を総合的に点数で評価したり格付けを行うことは(たとえば②の付与、AAAマーク等)、個々の評価項目等のウエイト付けがなされていない現段階では難かしく、評価機関の今後の課題です。受審者には、評価項目ごとに評価結果が知らされま

す。この事業の目的からすると、評価を受けたすべての保育所が、基本的に(その意思に反しない限り)結果公表の対象者となります。評価調査者は、児童福祉等の学識経験者や児童福祉施設の施設長(経験者)等で、一定の経験と研修を受けた者が、原則二人以上のチームで評価調査を行います。保育所の評価には利用者の視点は欠かせませんが、ここでは第三者による評価事業であること、利用者の視点を基準に取り込んでいるなどから、全体の評価結果を取りま

とめる参考に利用者アンケートが利用されます。

保育所にとつての第三者評価受審の意義は、なんと云っても①受審をきっかけにした、業務見直しと体制整備などが、自己評価その他の準備、実地調査、評価決定、それに付随したコンサルティング(診断・助言・指導)によって、図られることです。更に、②職員の意識改革や③受審結果の公表による利用者評価の高まりなども期待できます。

なお、残された課題として全国を網羅する事業として第三者評価機関は、どう作られていくのか、事業の進展によって事業の見直しがどの方向に進められるのか。受審の費用はいくらなのか。評価とは別にコンサルティング機能はどこで果たしていくのかなどがあります。

参考、「第三者評価マニュアル」(全保協、平成14年5月発行予定) 第三者評価基準について、解釈に幅があることを前提にしつつも、意味内容なるべく具体例で明らかにしながら、自己評価の手引きとして、また、保育サービスの質の向上に役立てるもの。

# 第45回 全国保育研究大会報告

## 島根県松江市で開催

国つくり神話、縁結びの社、

小泉八雲、宍道湖、松平様の城下町等名所、旧跡がいたる所にある島根県松江市で「第45回全国保育研究大会」が平成十三年十月十七日より十九日の三日間、全国各都道府県から市中あふれんばかりの保育関係者の参加と来賓各位のご臨席を仰ぎ開催された。

テーマは、前年度に引き続き「子どもを産み育てる夢」ある社会をめざして「保育のあり方を考える」を柱に、千八百余名の参加者が熱心に研究討議した実り多い三日間でした。

大会第一日目は、島根県民会館において、地元の伝統芸能、銭太鼓安来節を保育園児と関係者の皆さんで披露され、続いて神代神楽、大蛇退治も勇壮に演じられ、出雲の国を実感しました。

開会式では、島根県保育協議会の竹内千恵子会長の開会挨拶、島根県保育協議会理事の金山峰子氏による児童憲章朗読、つづいて主催者として全国保育協議会佐藤信治会長、全国社会福祉協議会理事松寿庶事務局長、島根県社会福祉協議会森山金一会長が挨拶

されました。

次に、保育事業に尽力された方々に表彰、感謝状の贈呈が行われました。本県では、厚生労働大臣感謝状六名、全国保育協議会会長表彰状・感謝状六名がその功績をたたえられました。

その後、ご来賓として、厚生労働省大臣官房水田邦雄審議官、地元開催地の島根県澄田信義知事、松江市松浦正敏市長から祝辞をいただき開会式を終えました。

続いて、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課高橋吉則課長補佐から行政説明がされ、主な内容は次のとおり。

少子、高齢化社会の現状に対し、仕事と子育ての両立支援の為の様々なサービスを計画し、合わせて待機児童ゼロを目指すサービスを計画して

います。

ハード面のサービスが発展して行く中で大人にとって便利になると同時に子ども達にとっても清潔、安全な環境の中で生活を保証され、一層充実した保育が大切である。又、日々の保育を大切にしながら、今後の保育の発展には多くの人々の協力が必要である等、当面の課題解決の施策の説明がされました。

そして、基調報告では、全国社会福祉協議会小川益丸副会長が行われ、待機児童対策、苦情処理、第三者評価等について取り組み状況が報告されました。

第二日目は、七会場十分科会に分かれ、研究発表、研究討議がされました。

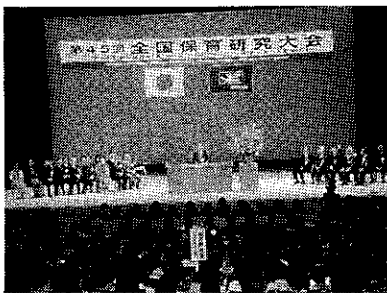
「新しい時代の保育所をめざして」「人材確保と職員養成をめざして」「多様化する特別保育を考える」「保育所運営のあり方について」「保育所指針と保育実践を考える」「子どもと保育実践を考える」「子どもと食事を考える」をテーマとして各分科会とも熱心な研究討議が行われました。

第三日目は、再び島根県民会館に参集して全体会が開催



され記念講演では、ファッションデザイナーの森英恵氏から「感性豊かな生き方」というテーマで講演され森氏自身の幼少時代の体験をおして地球規模の活躍をする日本人はもっと自分を磨いて、ルーツを持ち、日本人らしい感性を持ちつづけて欲しい、また子どもが育つ基本は家庭で子どもは宝であり、磨き上げて欲しいと力説されました。

閉会式は、大会アピール朗読が島根県保育士部会千代述尚子会長、島根県保育協議会南場安正会長が地元閉会挨拶、次期開催予定地の香川県保育所管理者協議会荻田美和子会長が歓迎の挨拶、最後に全国保育協議会武内茂子副会長の閉会の言葉で第四五回大会を閉じました。



# 保育園と主任児童委員とのかかわり 三地区から

## 〈平塚市公立保育園〉

平成10年に、主任児童委員が地域の子育て支援を担うこととなりました。これに対して公立保育園では、子育て支援の講演や、開放保育の見学を行うと共に地域の子育て中の親子の状況を知っていただきました。これを機に保育園と委員との連携が始まりました。また、委員の方々が公民館や子どもを家を利用して「子育て支援広場」を立ち上げたいとの思いに対して、保育園では子育て支援の方法などの助言を行いました。

その後、毎回「子育て支援広場」へ保健婦と共に保育士の派遣を行って参りました。

また、保育園が行う地域ブロック別子育て支援事業の「ミニミニ運動会」等に参加していただき、親子との連携や保育園との連携を深めることができました。

平成13年度は、委員と保育園長との会議を開催し情報交換を行い、保育園についての理解を深めていただきました。

現在では、保育園の苦情解決の第三者委員として、地域の子育てについて保育園と連携して行っていると考えております。

## 〈大和市草柳保育園〉

地区民生児童委員さんと当園との係りは私がこの園に来た平成8年以前からあり、双方が「共に手を取り合って地域の子供をして行こう」という目的の所で一致していたのでその後の交流も非常にスムーズです。例えば園の年間行事の中から「七夕祭」「焼芋会」「お餅つき」「ひな祭会」その他音楽会やお茶会に地域のひとりぐらしのお年寄り等もお招きするのだが、その橋渡しをいつもしてもらっていて、地域のお年寄りに大変喜ばれ、又子供たちもおじいちゃん、おばあちゃんとのふれ合いを楽しみにしています。又主任児童委員さんが立ちあげた子育てグループへの応援はもう4年になり、又、地域の学校との連携は主任児童委員さんのお陰でスムーズになり、小・中学校との交流もできてきました。それにより、保育園に在籍中の子供のみならず文字通り地域の子供たちの育ち、生活の現状問題点がより明確になり改めて保育園での保育の重要性を感じ原点に戻って保育を見つめ直している所です。

## 〈逗子市沼間愛児園〉

### 主任児童委員との連携

子どもたちのおかれた環境によつては、保育園だけの支援では不十分な場合が多く見受けられるようになりました。離婚や破産などで保護者が不安定だったり、母親の育児不安や精神病、虐待の兆候やDVなどは、注意深い長期的な観察が必要になっています。

そうした場合に、地域の状況を十分に把握し、学校や児童相談所との強いパイプを持ち、しかも秘密保持の面からも信頼のおける主任児童委員の役割は、非常に重要になっています。

当園では、苦情処理体制での第三者委員として主任児童委員と毎月定期的に報告を兼ねて会合を持ちながら、特に配慮を必要とする家庭については情報交換を深めました。

また、最近では、父子家庭が増加しつつあります。祖父母の援助がないケースでは生活が軌道に乗るまでこまやかに支援していただき、子どもたちの笑顔につながっています。

卵・乳・豆・除去お菓子  
食器・防災用品・調理器具取扱

有限会社

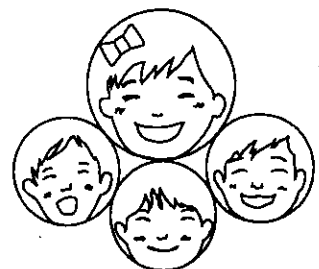
# カジユケマ

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野2丁目3-10

専用電話 0466-82-6401 専用FAX 0466-82-1278

※1988年から  
保育園様に納品中です。



カジユケマ・ファミリー

# 園長研修会

今年度の園長研修会は、箱根路「開雲」にて二月十四・十五日の日程で行われました。

一日目、「保育制度の諸改革と将来展望」と題して富田英雄会長の講義が行われ、これからの保育園はどう変わっていくのか、社会福祉基礎構造改革の一連の流れの中で、ISO取得（顧客満足度、園の場合保護者のサービスマネジメントは成果を出すため）又第三者評価制度、苦情



解決、認可外施設の届出、幼保一元化の問題等を、諸制度の資料付きで保育園の将来について示唆する課題が話されました。

午後からは、教育コンサルタントの新森保紀氏の「二十一世紀の組織経営」について、まず時事川柳から入りユーモアを持って頭脳を柔軟にした所で講演は進みました。二十一世紀経営の成功は「トップのビジョンと理念にかかっている」と。そしてその様々なマネジメントは成果を出すためにあると明快でした。

いまや社会福祉も企業も組織の活性化は同じで、いかに人と組織の活性化が大事であるか、職員が「楽しく激しく働く」為には、何が大事なのかその動機付けメカニズムは人間理解に繋がるものです。

二日目、「第三者評価」制度試案の試行事業受託者の相模原の川崎園長の実施事例に続き、小田原女子短期大学増田まゆみ教授の「第三者評価と保育サービスの質の向上」について講義が行われました。第三者評価と苦情解決は表裏一体のものであり最低基準をクリアしている所からの評価



として捉え、何の為に行うのか、なぜ質の向上なのか、その第三者評価試行事業から見てきたこととして、「問題改善への効果的目標設定」「職員の自覚意欲の醸成」「評価された事の社会的信頼」などの説明がありました。これらの全ての根幹は、児童の最善の利益に価するものであります。法改正がなされ新しい諸制度（しくみ）が機能することにより保育所より良い変革が期待されるという、実り多き研修は修了しました。

## 受賞おめでとうございます

平成十三年度中に表彰の栄誉を受けられた方々です

◎春の叙勲 勲六等瑞宝章

厚木市妻田保育園

徳永 佐代子 様

◎春の藍綬褒章

小田原市小田原愛児園

望月 郁文 様

◎厚生労働大臣表彰

相模原市大野台保育園

奥山 フク子 様

二宮町二宮保育園

小島 雅子 様

◎厚生労働大臣感謝状受賞者

相模原市すこやか保育園

小林 祐子 様

相模原市立正保育園

坂本 紀美子 様

大磯町立国府保育園

杉山 弘美 様

厚木市厚南幼児園

須藤 史枝 様

鎌倉市岩瀬保育園

富田 昌子 様

伊勢原市林台保育園

橋口 章公子 様

◎全国保育協議会感謝状

真鶴町岩愛児園

川口 仁齊 様

◎全国保育協議会会長表彰

平塚市中原保育園

永野 知子 様

平塚市立神田保育園

関口 忍 様

座間市立ちぐさ保育園

橋都 広子 様

横須賀市小光子愛育園

廣田 修平 様

秦野市いまいずみ保育園

草山 充 様

◎神奈川県保育賞

平塚市いずみ保育園

赤井 英子 様

相模原市すこやか保育園

石川 貞 様

大和市立若葉保育園

坂本 直子 様

横須賀市太田和保育園

西脇 由利子 様

伊勢原市立比々多保育園

深瀬 幸子 様

開成町酒田保育園

前田 珠恵 様

◎県保育会会長表彰

六十九名（お名前省略）

# 平成13年度

## 主任保育士研修会開催

平成13年11月30日神奈川県社会福祉会館ホールにて

参議院の本会議に於て、まさに保育士の国家資格化が通過されようとしていた十一月三十日(金)神奈川県社会福祉会館ホールにて、平成十三年主任保育士研修会が開催されました。

社会福祉、保育制度が大きく変わる中、保育所にも新たな経営視点が大切になっていく。苦情(意見・要望)は、その応対を誤れば、保育所に「危機」をもたらしかねない一方、サービス向上につなげる

ことができる大きなテーマのひとつである。苦情を前向きに受け止め、積極的な姿勢で対処し、保育活動に安心して取り組めるように具体的な対応の仕方を学んだり、中間管理職としての所内のコミュニケーションのあり方や接遇に係る指導力の向上を図ることを目的とし、県内各地区より、百十余名の参加者を集めて開催されました。

保育サービスの質の向上を図るために  
東洋英和女学院大学  
人間科学部人間福祉学科  
横倉 聡 教授  
平成二年に福祉に関する法

律の全体の見直しが行われることになり、社会福祉関係八法が改正、平成十年には児童福祉法の改正で保育所の利用の仕方が措置から契約制度へと変更され、平成十二年六月には社会福祉法が成立した。この改革により、日本の福祉に対する考え方が根本から変わり、与えられる福祉から、利用者本意のサービスへととなりました。

そこで利用者がいかに満足度を高めるか、苦情解決の仕組みが導入されました。苦情とは、意見、要望であり、苦情が出るといことは必ずしもマイナスとはとらえず、生の声から問題点を見つけてることである。苦情への対応としては、①よく聴くこと ②共感すること ③謝ること ④責任を示すこと ⑤施設内の情報伝達を迅速に行うことが大切だ。特に早期対応のま

ずさからくる苦情が多いので、日頃より保護者と良好な関係をつくっておくことの大切さを学びました。

改革の時代の保育事業  
県保育会会長・全国保育協議会予算・保育対策部長

富田 英雄 氏

本日保育士の国家資格化が決まろうとしているが、幼稚園教諭は国家資格なのにに対し、保育士は認められておらず、三十年来の夢でした。権利を獲得すると義務が伴うもので、守秘義務や罰則が規定され、相談業務を積極的に行っていくことが期待されている。また、プロ意識をもつことが大切である。例えば歩行のはじめりかけた子どもを預かっていて、保護者に一歩歩きかけたことを伝えるにも「今日、歩けたんですね」と伝えるか、「そろそろ歩くかもしれないですね」と伝え、初めて歩く瞬間を保護者に発見させて、その感動を与えてあげられるか、プロならば、親に一番に気づかせられるようなそんなテクニクを身に付けて欲しいと、国家資格化に向けて改めて身の引き締まる講義でした。

人間関係  
コミュニケーションと  
マナーハウス代表 NHK  
文化センター講師・湘南看護専門学校講師  
岩沙 元子 氏

人間関係の基本はコミュニケーションであり、トラブルはコミュニケーションが欠けていたことよって起こることが多い。職場ではまめに情報を伝え合うことが大切であり、リーダーの役割として、  
①トラブルシューター(解決力)  
②リーダーシップ(まとめ役)  
③伝達役  
④相互に励ます役目がある。態度の表現としてストローク「ふれあい」があるが、子どもたちは常にマイナスイメージ(しなさい)を受けているので、是非ほめる、励ます等、プラスのストロークをたくさん与えて欲しい。  
全ての人間関係がうまくいくことはないで、自分のせいにせず、うまくいかない人の事を受け止めた上で、それをプラスに生かすこと。主任として支える環境作りの役目の重要性を再認識させられる講義でした。  
苦情解決も保育サービスの向上も、コミュニケーションのとおり方ひとつで違ってくるので、良好なコミュニケーション能力の獲得が主任保育士として課題であると痛感する研修でした。

# 保育の日前夜祭

「保育の日前夜祭」は平成十三年十一月三十日に横浜東急ホテルにて開催されました。

県保育賞六人、春の叙勲一人、厚生大臣表彰二人、厚生大臣感謝状五人の受章者。

飯田県児童福祉課課長代理、峯尾県議会厚生常任委員長、清水県社会福祉協議会常務理事、小川県保育の日実行委員長、冨米野ゆりの会々長、山田湘北短期大学々長、藤沼県保育士会長他多数の来賓及びお祝ひにかけつけた方々総数一六六名の参加のもと、前夜祭は幕を開けました。

冒頭、富田県保育会々長は、主催者代表挨拶の中で、前夜祭のアトラクションは、過去のクラシック音楽の傾向であったが、今回は型を破り横須賀のジャズバンド「おんぶハウスバンド」による、ウェルカムミュージックに始まりバックミュージックあり、さらに演奏を聴く三部構成と趣を変えたと前置きされた。

峯尾厚生常任委員長は、二

十一世紀は希望に輝く年でありたい。又待機児ゼロをめざしたいものである。児童虐待は、しつけやマナーが課題である。この事を母親に伝えて欲しい。又親の意志で正しいと思うことができるよう指導できる保育士であることを祝辞の中で三十年来の夢であった保育士資格が国家資格として参議院を通過したことは喜ばしい。保育はまばたきする間に変わる時代となった。前夜祭でリフレッシュし明日へつなげて欲しいと述べられた。

飯田課長代理は、保育賞は神奈川県全域で後輩の目標と称されてきた。保育をめぐる状況は厳しいが少子化において親も子ども自然体での包容力が求められている。児童の健全育成を基本とし明日の神奈川県を担う子ども達のために尽力を述べられた。

小川実行委員長は、その昔津田知事の息使いが聴こえるのではないかと感じる程間近

で褒章をかけられ感激したことは今も記憶に新しいと述べ、山田湘北短期大学々長は、園児が先生に褒められた時の喜びの表情は素晴らしい。孫一人でも大変なのに……。と実体験を基に話され、しつけの大切さを述べられました。

参加者が大勢で会場が狭く感じられた中、おんぶハウスのジャズ演奏をバックに御馳走に箸を運びながら、会場は終始なごやかな空気が漂い時間はまたたく間に過ぎ閉幕となりました。

受章者の皆様おめでとうございます。



## 調理員研修

去る一月二十三日、保育所調理員研修が、栄養士、調理員一七八名の出席者を得て開催されました。

はじめに県保育会富田英雄会長より、この研修は出席者も多く、抵抗力の弱い小さな子ども達への健康を担っている調理員さんへの仕事の重要性和日頃のご労苦に感謝する意味を込めて行っているもので、これからも細やかな神経をそそぎ調理業務に励んでほしい、今日は、心とおなかを満して

いってくださいとのこと話があり、県保育会給食問題研究会より経過報告もありました。

「BSE(牛海綿状脳症)対策について」のテーマで県衛生部の猪俣秀哉氏より病気原因、症状、対応などについて講演があり、日本では現在に於ては肉、牛乳、共に全頭検査で合格した品が流通していることで安全であることを強調されました。

給食で使用しても大丈夫であるとのことがありました。

午後は「乳幼児期の発達と献立例について」というテーマで東京家政学院短期大学教授で管理栄養士でもある後藤

玲子氏による講演でした。ご自身が現場経験を踏まえた中から豊富なカルシウムと良質なタンパク質、低エネルギーのスキムミルクは食生活を健康的に裕にする食品として魅力ある食材である事を献立例をあげて話され、また、エコクッキング(蒸し煮)の見直しは調理の時間短縮、燃料の節約、栄養素の損失が少ないなどの利点があり地球環境にもやさしい調理法なので多に取り入れて欲しいと話されました。

最後に「おいしいから食べて」給食、食事指導は職員間の連携があつてこそ成り立ち、調理の工夫、食べられる雰囲気、環境づくり、個人差への配慮がたいせつであり、調理保育を経験させることで、その物への興味や味を知らせてやることの良い機会でもあると声を大にされました。

その時代、時の状況に合わせて食育を進めている現場の職員が一番の力であると共に大きな責任が果せられていることも強調されました。第二部は「味の実習」として東急ホテルに会場を移し試食会が行われ心豊かに味わうことのできた有意義な研修でした。

### 第43回関東ブロック保育研究大会（神奈川県大会）

2002年（平成14年）7月3日（水）～5日（金）

全体会：藤沢市民会館 分科会：藤沢市内公共施設、ホテル等

主催 神奈川県、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県保育会、神奈川県保育士会  
後援 厚生労働省、全国社会福祉協議会、全国保育協議会、藤沢市

現在、実行委員会で、開催準備を行っております。14年に1度の神奈川県での開催です。各保育園におかれましては、協賛金の拠出と大会へのご参加をよろしくお願い申し上げます。

### 発育期のお子様だからこそ、正しい食品をおすすめします。

安全+栄養豊富+美味しさ=サンワールドのお菓子 『元気な子』



- ★防腐剤・保存料・合成着色料は無添加
- ★鉄分・カルシウム補給
- ★行軍用無添加お菓子セット『元気な子』

- ★糖心をつける
- ★乳児にも安心

全国の保育園、保育所で給食やおやつとして御愛用いただいております。



総発売元 株式会社 サンワールド  
フリーダイヤル 0120-18-5665

代理店 サンワールド神奈川  
TEL 0424-73-4156

### 編集後記

沢渡公園も桜の季節となりました。保育園園庭の木々の花々も園児たちを楽しませていることと拝察します。

さて、卒園進級、入園の時期になり毎日が忙しくも喜びが一杯のこの頃となりました。今年で、「保育かながわ」の編集のお役目が終了となります。広報委員一同不慣れな者ばかりで御見苦しい点の数々でありましたが皆様のご指導を仰ぎよい勉強の機会となりました。振り返って見れば事業大会、関東ブロック静岡大会、全国保育研究松江大会、保育のつどい、調理員研修会、園長研修会等の大会、研修は夫々充実した内容で多数の参加がありました。この間委員は、苦情解決の相談室の立ち上げ、今夏に予定の関東ブロック神奈川大会準備の為の諸会議、国や県の施策の勉強会、ニューリーダー育成セミナーの発足等、昼夜を問わず活動の連続であったことを申し添えます。

当社は

# きれいなすなば

をモットーに  
園児のあそび場として大切な  
すな場の年間管理を  
しております



年間管理システムによる

## サンド・クリーン・サービズ



Step1 加熱殺菌殺虫処理

Step2 オゾン水殺菌処理

Step3 熱水殺虫処理

Step4 オゾン水殺菌処理

※Step 1～4 処理時、異物除去



コスモ石油グループ  
トコス エンタプライズ株式会社 サンドクリーン事業担当

〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町9-1  
TEL.045-521-2050 FAX.045-521-2569  
Internet HomePage : <http://www.comotas.co.jp>